

**指定期間中間モニタリング**  
**(平成 29 年度)**

<b>施設名称</b>	佐倉市男女平等参画推進センター
<b>施設概要</b>	所在地：〒285-0837 千葉県佐倉市王子台 1-23 レイクピアウスイ 3 階 施設構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 4 階建 3 階の一部 敷地面積：13,077.83 m <sup>2</sup> (建物全体) 延床面積：155.27 m <sup>2</sup> 建築年月：昭和 58 年 6 月 施設内容：図書コーナー、ミーティングスペース、学習室(18 人収容)、事務スペース 附帯設備：駐車場 (800 台収容) ※ショッピングセンターのため、共用
<b>施設の設置目的</b>	男女平等参画推進条例に基づく施策を推進し、市民や事業者の取組みを支援する男女平等参画推進活動の拠点として設置
<b>指定管理者</b>	特定非営利活動法人ミウズ 1 号
<b>指定期間</b>	平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
<b>委託料</b>	68,400,000 円 (指定期間総額)
<b>市所管課</b>	市民部 自治人権推進課
<b>評価対象期間</b>	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

## 1 項目別評価

評価	説明
S（優良）	要求される水準を上回り、特に良い成果が認められる。
A（適格）	要求される水準を満たしている。
B（概ね適格）	要求される水準を満たしているが、一部問題点が認められる。
C（不適格）	要求される水準を下回り、問題点が認められる。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

### （１）【公の施設の平等利用等に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
基本事項	関係法令等を理解し、遵守したか。	A	A
	必要な資格免許が取得されていたか。	—	—
① 平等利用	全体の事業内容に偏りはなかったか。	A	A
	特定の個人や団体が優遇されることはなかったか。	A	A
② 公共性	公の施設を運営するにふさわしい理念により運営していたか。	A	A
	現状分析・課題認識は適切であったか。	A	A
	公の施設の設置目的や市の施策を理解した事業内容であったか。	A	A
	管理運営における環境への配慮は十分であったか。	A	A
	利用者の要望や意見を把握し、的確に対応したか。	A	A
<b>具体的な取り組みの状況・実績</b>			
<p>佐倉市男女平等参画推進センターは、佐倉市男女平等参画推進条例等に基づき、男女平等参画社会の形成を促進するための活動拠点として、学習会等の企画及び開催、ミーティングスペースの活用や学習室の貸出し、女性のための相談、情報誌の発行（年2回）や図書の貸出しなどを行っています。</p> <p>また、毎年、利用者アンケートを実施し、事業内容や施設の環境、職員対応等についていただいた意見を参考に、ニーズに沿った事業の企画・開催や施設の環境整備を行いました。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（指定管理者）</b>			
<p>男女平等参画推進のための学習会は女性だけではなく男性向けの学習会も開催し、柔軟な考えに基づいた、幅広い内容の事業を企画、展開しています。</p> <p>また、設置目的に基づいた各種事業や施設をより多くの市民に利用して頂くために、効率的で効果的な運営を図っています。</p> <p>「男女共同参画週間（6/23～6/29）」における市民協働事業として「ミウズ☆フェスティバル」を毎年、ミウズ登録団体（17団体）と実施要項を協議し市民が参加するイベントを開催しています。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（市）</b>			
<p>関係法令等を遵守し、業務基準等に基づき平等・公平な施設運営を行っています。</p> <p>男女平等参画社会の形成を促進するための活動拠点として、学習会等や女性のための相談など様々な</p>			

事業を展開し、多くの市民に活用されています。

また、施設運営にあたっては、これまでの実績により培われた専門知識や、地域住民との交流の積み重ねによるネットワークを活かし、市民活動の場として適切な運営を行っています。

(2)【公の施設の効用発揮・経費縮減に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 効用発揮	施設の特徴を活かし、施設の価値を高めることができたか。	A	A
	サービスの質の向上のための取り組みは効果的であったか。	A	A
	利用拡大の方策は効果的であったか。	A	A
	施設の情報発信は工夫されていたか。	A	A
	企画事業・独自事業の実施方針や内容は適当であったか。	A	A
② 経費縮減	収支計画にのっとり、安定して経営できたか。	A	A
	運営の効率化が効果的になされたか。	A	A
	予定外の収入減・経費増への対応は的確であったか。	A	A
<b>具体的な取り組みの状況・実績</b>			
<p>サービスの質の向上を図るため、スタッフ全員による県内外の女性センターの視察研修を行ったほか、各種セミナーや行政の会議等に参加し、情報交換・情報収集に努めました。</p> <p>また、情報誌ミウズ（年2回発行）やホームページ、自主企画パネルなどを活用し、効果的な情報発信に努めました。</p> <p>管理経費については、業務の効率化を図り、きめ細かな検討による経費縮減に努めました。</p> <p>・来館者数 27年度 33,218人、28年度 30,749人、29年度 30,209人</p> <p>・学習室利用者数 27年度 6,611人、28年度 6,036人、29年度 6,207人</p> <p>・管理経費 27年度 13,701,762円、28年度 13,451,008円、29年度 13,587,781円</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（指定管理者）</b>			
<p>国、県等各行政機関からの資料配架やイベントや会議への出席も行い、スタッフへの周知、研修も随時行っています。</p> <p>「さくらフェスタ」の会場ではミウズの事業を紹介するパネル展示やテーマ展示を行っています。</p> <p>独自事業として11月のDV防止月間では毎年＜パープルリボンプロジェクト＞を展開し、市内各所にリボン作成のキッドを設置し協力頂いています。リボンはパープルリボンキルトとして作成し、イベント会場に展示しています。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（市）</b>			
<p>県内外の男女共同参画推進センター等との情報交換や、国・県・利用者等からの情報収集を積極的に行うとともに、効果的なスタッフ研修の実施などにより、サービスの質の向上を図りました。経験豊かなスタッフの対応等については、利用者から高い評価を得ています。</p> <p>社会情勢にあった、また必要に応じて対象を絞った企画事業等は、市民の男女平等に関する意識醸成の場となっています。</p>			

事業計画に則った安定した運営が行われていますが、利用者数が減少傾向にあることから、今後、一層の効果的な情報発信が求められます。

(3) 【公の施設の管理運営の安定性に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
① 物的能力	団体の経営が安定していて、施設管理を継続的・安定的に行うことができたか。	A	A
	施設の維持管理、備品の管理は適切に行われたか。	A	A
	安全管理・危機管理への取り組みは適当であったか。	A	A
	個人情報の保護、情報公開に対し十分配慮し、必要な措置を講じたか。	A	A
	第三者への委託や運営協力体制は適当であったか。	A	A
② 人的能力	団体本部との役割分担や責任体制は明確かつ適当であったか。	A	A
	適切な人員配置・勤務体制がとられていたか。	A	A
	人件費や労働条件の設定において、職員への配慮はなされていたか。	A	A
	職員の教育研修体制は適当であったか。	A	A
<b>具体的な取り組みの状況・実績</b>			
<p>毎年、臼井ショッピングセンター協同組合による合同消防避難訓練に参加し、緊急時の対応力と連携力の強化に努めています。また、ミーティング時に「緊急時対策マニュアル」の留意点について確認を行っています。</p> <p>個人情報の保護、情報公開については、NPO 法人ミウズ1号個人情報保護規程及び情報公開規程に基づき適切に対応できるよう、職員への周知徹底を図っています。また、情報セキュリティ対策研修等も実施しました。</p> <p>適材適所の人材・職務配置に努めるとともに、毎月1回スタッフ全員参加のミーティングを行い、情報共有を図っています。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（指定管理者）</b>			
<p>センターの施設もH15年度開設以来14年が経過する中で経年劣化が見られるようになり、H29年度はブラインドの修繕、冷暖房機器の大掃除、業務用掃除機の部品購入等、例年以上に施設の維持管理と備品の管理を重視して行ってきました。安全管理、危機管理及び個人情報保護については講師を招いて職員研修会も行っています。</p> <p>国の最低賃金の急激な上昇が2年続き困惑していますが、諸経費を見直し、団体の運営費との調整によって乗り越えているところです。</p> <p>サービスの質の向上を任うのはスタッフの育成がベースとなることから、東京都千代田区男女共同参画センター（ミュウ）にスタッフ全員で研修に出向き、施設の運営と管理の実態を施設職員から説明を受ける等の機会を得たことで施設の管理運営を継続的・安定的に行う基盤となりました。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（市）</b>			
<p>利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の維持管理、備品の管理を適切に行いました。</p> <p>安全管理、危機管理及び個人情報保護については、職員研修を行ったり、スタッフミーティングで周知徹底を図ったりするなど、適正な管理が行われています。</p> <p>職員のスキルアップを図るため、積極的に研修を実施し、その結果として、効果的な事業の企画・実施、利用者の高い満足度へとつながったものと思われま。</p>			

(4) 【公の施設の設置目的の達成に関する取り組み】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
男女平等参画 社会の形成に 対する理解	佐倉市男女平等参画推進条例や佐倉市男女平等参画基本計画を尊重した取り組みを行ったか。	A	A
	男女平等参画社会形成のための、国・県・市の取り組みを理解しているか。	A	A
	男女平等参画の意識を浸透させるための方法を提案し実施したか。	A	A
	男女平等参画推進に関しての専門知識や指導助言できる能力を有しているか。	A	A
<b>具体的な取り組みの状況・実績</b>			
<p>男女平等参画社会を形成するための学習会等や、女性のための相談などを実施しました。</p> <p>【学習会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さくら塾（女性が健康で自信を持って生きることを考えるための講座）</li> <li>・ 女性のための再就職応援講座（実践的なスキルアップ講座）</li> <li>・ 熟年時代の土曜塾、メンズ暮らし塾（男性を対象とした講座）</li> <li>・ 男女平等参画講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>27年度「女性が輝く社会の結婚へのアプローチ」78名参加</li> <li>28年度「福島、平和、子どもたちに思いを寄せて」101名参加</li> <li>29年度「夢を叶えるのはいつからでも～仕事も育児も人生も～」86名参加</li> </ul> </li> </ul> <p>【女性のための相談】</p> <p>毎週金曜日、業務委託先の NPO 法人ウィメンズカウンセリングちばのカウンセラーによる女性のための相談を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>27年度 面接相談 延べ142人、電話相談 延べ25人</li> <li>28年度 面接相談 延べ134人、電話相談 延べ18人</li> <li>29年度 面接相談 延べ119人、電話相談 延べ22人</li> </ul> <p>【独自事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パープルリボン・プロジェクト（DV防止運動の取り組み）</li> <li>・ 「ミウズ・カフェ」（市民サービスの向上）</li> </ul>			
<b>評価の理由及び今後の課題（指定管理者）</b>			
<p>男女平等参画社会形成のための、国の男女共同参画週間に呼応した佐倉版としての「ミウズ☆フェスティバル（5日間）」を市民協働イベントとして登録団体（17団体）と開催するなど県内の他センターをしのぐ水準で取り組んでいます。</p> <p>また、男女平等参画の意識を浸透させるため、他センターにない「パープルリボンプロジェクト（DV防止）」など常に先駆的事业に取り組んでいます。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（市）</b>			

男女平等参画推進に係る国・県の動向や社会全体の動きを的確に捉え、男女平等参画社会形成のための取り組みや男女平等参画の意識を浸透させるための幅広い事業を展開しました。

また、研修や事業を通して、男女平等参画推進に関しての専門知識や指導助言できる能力を高めました。社会情勢を反映し、市民のニーズに合致した事業を展開しています。



(5)【その他取り組み（参考）】

項目	評価視点	評価欄	
		指	市
参考項目	障害者、高齢者の雇用や男女平等参画に対する配慮がなされたか。	A	A
	市民との協働による管理運営が行われたか。	A	A
	地域の活性化につながる取り組みがなされたか。	A	A
	地域雇用が行われたか。	A	A
	収益（剰余金）が有益に利用されたか。	A	A
<b>具体的な取り組みの状況・実績</b>			
<p>毎年、ミウズ登録団体と「男女共同参画週間」の協働事業についての懇談会等を行い、「ミウズ・フェスティバル実施要項」に取りまとめ、多くの市民が参加するイベント「ミウズ・フェスティバル（男女平等参画講演会・登録団体のテーマ展示等）」を開催しています。（参加者 27年度 1,183人、28年度 930人、29年度 700人）</p> <p>また、学習室やミーティングスペースなどは、地域に根ざした市民交流の場として活用されています。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（指定管理者）</b>			
<p>内閣府・文科省・県・市で開催されたセミナー・講演会（①女性活躍社会、②働き方革命、③女性の社会参画）に参加する一方で、職員研修として「苦情・クレーム対応」、「情報セキュリティ」等のテーマにも取り組むなど、市民との協働を念頭とした管理運営を図っています。</p>			
<b>評価の理由及び今後の課題（市）</b>			
<p>登録団体との協働事業である「ミウズ・フェスティバル」を実施するなど、地域の活性化につながる取り組みが行われています。</p> <p>また、研修により、市民協働に対するスタッフの意識を高めるなど、組織全体で市民協働による管理運営に努めています。</p>			

## 2 総合評価及び今後の課題

[意見記述欄] 総合評価及び今後の課題	
指定管理者	<p>他の市町村女性センターより長期間での「男女共同参画週間」イベントの実施など、施設の設置目的に沿った企画と運営に努めています。</p> <p>また、市民ニーズに添った講演会の開催を念頭に毎年開催し、企画内容については市民から一定の評価を得ています。</p>
市	<p>幅広い学習会等の実施や広報活動、女性のための相談など、男女平等参画推進の拠点施設として、積極的な取り組みが行われています。</p> <p>これまでの実績により培われた専門知識や、地域住民との交流の積み重ねによるネットワークを活かした事業は、利用者からも高い評価を得ています。</p> <p>一方で、施設の利用者数が減少傾向にあることから、今後、効果的な広報活動の充実を図る必要があります。施設の利用者拡大を目指すとともに、男女平等参画推進に係る利用者が増えるよう努めていただきたいと思います。</p> <p>男女平等参画に係る社会全体の問題が複雑化している中、男女平等参画推進センターの役割はますます重要になっています。今後も市民のニーズや社会情勢を的確に捉え、男女平等参画の視点に立った新規事業の展開、施設運営に努めることが求められます。</p>